

平常時から確認 避難行動チェックリスト

CHECK 1 ハザードマップを確認する

区役所等で配布している「仙台防災タウンページ」や、市ホームページの「せんだいくらしのマップ」に掲載しているハザードマップを確認し、自宅等どのような危険があるか把握することが大切です。



◎NTTタウンページ(株)

土砂災害の恐れがある区域
 土砂災害危険箇所
 土砂災害警戒区域
 土砂災害特別警戒区域

洪水浸水想定区域
 0.5m未満
 0.5m～3m未満

早期の立ち退き避難が必要な区域
 洪水浸水想定区域（3m以上）
 家屋倒壊等氾濫想定区域（大雨の際、河川氾濫等により、一般的な木造住宅が押し流される恐れがある区域）

※早期の立ち退き避難が必要な区域では、安全の確保が難しいため、早めに区域外への避難が必要です

▲仙台防災タウンページのハザードマップの着色例（各区域の着色は、ハザードマップにより異なります）

CHECK 2 避難場所を確認する

ご自身・ご家族にとって適切な避難場所と、避難場所までの道順を確認しておきましょう。

自宅等にとどまり、安全確保に努める

- 洪水浸水想定区域内だが、早期の立ち退き避難が必要な区域外で、自宅等が2階建て以上の建物やマンションの上層階など想定される浸水の深さより高い位置にある場合
- 土砂災害の恐れがある区域だが、自宅等が頑丈な建物の上層階にある場合

親戚・知人の家に避難

- 安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚・知人がいる場合

指定避難所に避難

- 上記以外の場合（大雨災害時に開設される避難所の場所をハザードマップで確認しておきましょう）

CHECK 3 避難開始のタイミングを確認する

高齢者や障害のある方など、避難に時間を要する方や、早期の立ち退き避難が必要な区域にいる方は、早めの避難が必要です。あらかじめ避難を開始するタイミングを確認しておきましょう。

警戒レベル	避難情報
警戒レベル1	早期注意情報 最新の気象情報に注意
警戒レベル2	注意報 避難行動の確認
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始 災害を予測し避難準備を呼び掛けるために発令
警戒レベル4	避難勧告 災害が発生する恐れがあり、避難を促すために発令
警戒レベル5	災害発生情報 既に災害が発生していることを把握した場合に発令

緊急度：低 → 高

警戒レベル3: 避難に時間を要する方、早期の立ち退き避難が必要な区域にいる方は避難

警戒レベル4: 自宅等がハザードマップで着色されている方は全員避難

警戒レベル5: 発令前に避難完了

CHECK 4 非常持ち出し品を準備する

衣類、タオル、常備薬、現金、保険証、携帯電話の充電器などのほか、家族構成に合わせて、離乳食、紙おむつ、介護用品などを用意してください。

また、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、マスク、体温計、手洗い用せっけんなど、衛生用品も準備しておきましょう。

避難所における 新型コロナウイルス感染症対策

- ◆マスクを着用するなど、咳エチケットを心掛け、手洗いを徹底しましょう
- ◆発熱や咳等の症状がある場合は申し出てください
- ◆密接した状態での会話は控えましょう
- ◆新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した際の濃厚接触者把握のため、避難者名簿への記入にご協力ください

この特集に関するお問い合わせは減災推進課 ☎214・3048、FAX214・8096



▲令和元年東日本台風における被害状況（①仙台駅西口②泉区野村③青葉区双葉ヶ丘）

大雨災害から命を守るために 一避難行動を確認しましょう

激甚化する大雨災害

近年、大雨災害が多発しており、毎年のように全国各地で甚大な被害がもたらされています。昨年10月に上陸した令和元年東日本台風（台風第19号）では、市内でも大きな被害が発生。1日で10月の月降水量（平年値）の約3倍もの大雨が降り、各地で土砂災害が発生したほか、床上・床下浸水した家屋は1000棟以上に及びました。これから、台風や前線の影響で大雨災害が発生しやすい季節を迎えます。改めて災害から身を守るための行動を確認しましょう。

新型コロナウイルスの感染を避けて避難するために

新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、災害はいつ発生するかわかりません。これからは、感染リスクを考慮した避難行動を取る必要があります。避難とは「難」を「避」けること。自宅などで安全が確保できる場合には、必ずしも避難所など他の場所に避難する必要はありません。ご自身の状況に応じて適切な避難行動を選択することが大切です。避難所が過密になることを防ぐため、ハザードマップの洪水浸水想定区域外にいる方や、2階建て

避難行動の事前確認を

大雨災害から身を守りつつ、新型コロナウイルスの感染を防ぐためには、日頃から避難行動を考慮しておくことが重要です。次ページの「避難行動チェックリスト」等であらかじめ確認しておきましょう。

大雨災害は避難が遅れると命に関わります。雨が降り出したら、テレビやラジオ、市ホームページ、市危機管理室ツイッターなどで気象情報や避難情報等を確認し、早めの避難をお願いします。

以上の建物等、想定される浸水の深さより高い場所に住んでいる方などは、自宅等にとどまり安全確保に努めてください。また、可能な場合は、安全な場所に住んでいる親戚や知人の家などに避難することも検討しましょう。

いずれも難しい場合には、ためらわずに避難所に避難してください。市では、新型コロナウイルスの感染リスクを抑え、安全に避難できるように、避難者同士のスペースを十分確保し、定期的な換気等を行うほか、体調不良者のための専用の滞在場所を用意します。避難される方ご自身でも、手洗いや咳エチケットなど、感染予防対策や体調把握にご協力ください。